【第5回課題】教育情報化教材論A

E16-5406 神谷陽太

○自分のeラーニングに必要な評価(ポートフォリオに限定しない)

　知識や技能の習得という面においては、穴埋め形式の確認テストや、得た知識を使って自分なりの考えを構成するレポート形式の課題によって、評価することを考えます。意欲や態度については、自己評価を取り入れつつ、web会議システム等を用いて他者と学習活動を行う際には他己評価を行い、相互評価という形式を取れるといいのではないかと思います。ただし、ダニング=クルーガ効果と呼ばれるような評価の不当性も考えられるため、自己評価や他己評価については、あくまで学習活動の振り返りのために用いて、成績評価では知識や技能の評価を主にして行うことが望ましいと思います。

○考えていることと類似の事例を探す

・『自己評価活動の学習効果について』(2012)　近藤 真宣（拓殖大学国際学部 教授）

URL：<https://fis.takushoku-u.ac.jp/research/wn_backnumber/backnumber/16/kondo.html>

(最終アクセス 2021/5/27)

・